

2023 年度 事業報告書

特定非営利活動法人 東京乾癬の会 P-PAT

1 事業の成果

乾癬という病気と、その治療に関する正しい知識の普及、患者の精神的苦痛の緩和に向けた学習と交流の場の提供を行い、またこの病気の社会的認知を広める活動を行なった。

2 事業の実施に関する事項

<主な活動内容>

- ・総会の開催
- ・乾癬フォーラム(年2回)、その他学習会・セミナー等の開催
(ZOOM によるオンライン又はハイブリッド学習会)
- ・機関紙（P-PAT レター）の発行(年2回)
- ・定期スタッフ会議の開催（月1回）
- ・日本乾癬学会、日本臨床皮膚科医会、日本皮膚科学会等への参加（主に広報活動）
- ・日本乾癬患者連合会(JPA)を通じた全国各会(24 団体)との協力体制による活動
(各会主催の学習懇談会等への出席などにより、情報交換・交流をはかる)
- ・全国乾癬学習懇談会の開催（日本乾癬患者連合会・日本乾癬学会との共催）
- ・ホームページ、各種SNS の運営、配信
- ・一般社団法人 INSPIRE JAPAN WPD 乾癬啓発普及協会との協力活動
- ・その他各種啓蒙活動、交流会の実施
- ・企業との協働・協力

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 1,400 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
学習会事業	第43回乾癬フォーラム	6月11日	ハイブリッド	15名	会員 一般	約80名	480千円
	第44回乾癬フォーラム	11月5日	ハイブリッド	15名	会員 一般	約80名	
	第18回ウイメンズセミナー	10月28日	東京	5名	女性会員	約15名	
	乾癬性関節炎・膿疱性乾癬患者の集い	10月7日	ハイブリッド	8名	会員 一般	約25名	
普及啓発事業	HP 運営	通年	—	4名	会員 一般	—	200千円

情報交換事業	第39回・40回日本臨床皮膚科医会総会・臨床学術大会 JPA 協力・出席等	6月17-18日 4月20日-21日	札幌 宇都宮	3名	—	—	20千円
	第122回 日本皮膚科学会総会	6月1日～4日	横浜	4名	—	—	5千円
	第38回 日本乾癬学会学術大会 全国乾癬学習懇談会 in 台場	8月25日 ～26日	東京	7名	一般 会員	50名	10千円
	さくらウォーク	4月23日	東京	5名	会員 一般	20名	5千円
会報 HP 事業	P-PAT LETTER 発行(2回)	9月・2月	川口市	10名	会員 医療 一般	400名	680千円

(2) その他の事業

(事業費の総費用【 0 】千円)

定款に記載 された 事業名	事業内容	日時	場所	従事者 人数	事業費 (千円)
	特になし				

以 上

2023年度 活動計算書（その他事業がない場合）

特定非営利活動法人 東京乾癬の会P-PAT

（単位：円）

科	目	金額	小計・合計
【A】 経常収益			
1 受取会費			683,000
正会員受取会費	573,000		
賛助会員受取会費	110,000		
2 受取寄附金		923,000	923,000
受取寄附金			
施設等受入評価益			
3 受取助成金等		280,000	280,000
受取助成金			
4 事業収益	事業収益 事業収益		
5 その他の収益		9	9
受取利息			
経常収益計			1,886,009
【B】 経常費用			
1 事業費			0
(1) 人件費			
給料手当			
(2) その他経費			1,400,148
謝礼金	0		
印刷製本費	399,300		
会議費	24,151		
旅費交通費	63,248		
広告宣伝費	231,911		
接待交際費	1,630		
通信費	12,758		
事務用品費	61,001		
荷造運賃費	211,046		
会場費	306,300		
諸会費	19,700		
支払手数料	36,100		
事業費計			1,400,148
2 管理費			
(1) 人件費			
役員報酬			
(2) その他経費			193,836
会議費	0		
旅費交通費	0		
通信費	82,000		
荷造運賃費	0		
事務用品費	43,138		
接待交際費	0		
租税公課	1,100		
広告宣伝費	0		
支払手数料	66,148		
雑費	1,450		
管理費計			193,836
経常費用計			1,593,984
当期経常増減額【A】－【B】・・・①			292,025
【C】 経常外収益			
固定資産売却益			
過年度損益修正益			
経常外収益計			
【D】 経常外費用			
固定資産売却損			
災害損失			
過年度損益修正損			
経常外費用計			0
当期経常外増減額【C】－【D】・・・②			0
税引前当期正味財産増減額①+②・・・③			292,025
法人税、住民税及び事業税・・・④			0
前期繰越正味財産額・・・⑤			1,438,886
次期繰越正味財産額③－④+⑤			1,730,911